

2021 0 コマ目の記録

2021年4月12日(月)～18日(日)

栽培中の植物

- マリーゴールド
- コリウス
- シソ
- エダマメ
- バジル
- ハツカダイコン
- 千日紅

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
4/12(月) 8:30	晴れ	気温(15℃)	1. 日直の仕事の説明 ① 温室気温記録 ② 日記の記入(日付&最高気温&最低気温&作業内容) ③ 温度計リセットする(ムシが下がる)⇒段ボールにしまう 2. 温室の説明 ① 天窓・側窓・遮光カーテンの開閉の仕方 ② 温度調節(夜10℃以上になったら網戸でOK) ③ 虫対応…開閉時、網戸をしっかり閉めること。 3. 水やり…コリウスのみ (鉢底石の高さに合わせて水を張る) 4. その他注意事項 ① 灌水の温度(夏場は撒く前に温度チェック) ② ホースの使い方(ホースに溜まっている水を出し切る) ③ パトランプが回っていたらブレーカーを確認すること
		最高(27℃)	
		最低(14℃)	
4/13(火) 8:30	曇/ 小雨	気温(15℃)	1. 補足説明 ① 網戸の確認…虫対応のため開閉時しっかり閉めること この時期以降はアブラムシ・蝶・蛾の飛来に注意 ② 環境条件を確認し、体感で予測できるようにする天気・気温を毎日計測する *園芸療法の進捗を予測したり、水やり判断材料になったりする ③ 昨日との違い・直近に見た時との変化を見つける力を養おう *自分の行動をあらためることになり、成長につながる。違いが生じた理由は以下の3つの中に必ずある ・植物そのものの性質 ・環境(気象・生物・土壌)によること ・人によること 2. 植物の観察(水やりの要・不要の判断) ① 水やり無し ② 発芽の状況…ハルカダイコンのみ3~4個のプランターで発芽
		最高(22℃)	
		最低(15℃)	
4/14(水) 8:30	曇り	気温(17℃)	エダマメのポットに変化なし。種がさかさまになり、根が地上にある場合は覆土する。本日(3日目)マリーゴ
		最高(21℃)	

		最低(5℃)	ールドが発芽したので、新聞紙を除去し、日光に当て灌水の頻度・量は与え過ぎないようにして、胚軸の徒長を防ぐ。 ハツカダイコン：‘紅白’の方が若干発芽早い。‘サクランボ’は、胚軸が赤い。
4/15(木) 8:30	晴れ	気温(15℃)	セルトレイのみ灌水を行った。マリーゴールドは6割程度発芽が見られる。ハツカダイコンは発芽が揃った状態。枝豆は一部種の膨張が見られる。コリウス・バジル等は発芽が見られない。
		最高(23℃)	
		最低(12℃)	
4/16(金) 8:30	曇りのち雨	気温(19℃)	ハツカダイコンの子葉が混みあっているため一部間引きし、灌水を行う。コリウスは発芽が始まり、いくつか土の隙間から胚軸が見える。エダマメは種が膨張し、胚軸が伸び始めている。千日紅は、一部発芽した。
		最高(26℃)	
		最低(14℃)	
4/17(土) 8:40	雨	気温(16℃)	エダマメは、‘とびきり’、‘ピアフレンズ’ともに発芽を確認。コリウスは誰の目にも発芽が確認できる。種をまいた土にそれほど乾きは見られず、天気予報は一日中雨の為、灌水は行わない。
		最高(19℃)	
		最低(10℃)	
4/18(日) 8:20	曇り時々晴れ	気温(12℃)	乾燥が目立ちセルトレイが軽くなったため灌水を行う。エダマメは‘とびきり’、‘ピアフレンズ’ともに同じように発芽をしている。ハツカダイコン・コリウス・バジルなど順調に成長している。
		最高()℃	
		最低()℃	

写真



4/15 ハツカダイコンの発芽



4/16 マリーゴールドの発芽